

創刊の辞

『教職支援センター年報』発刊に寄せて

教えるために学ぶ ―教員をめざす皆さんへ―

佐藤 悦成*

教員をめざす学生諸君を、その志が成就するよう導くため、さまざまな方面から教導するのが「教職支援センター」です。本学の教職支援センターは大学の附置施設として、平成30年4月に開設されました。公立学校教職経験者三名がセンター教員として配置されています。教員になるためには、教員免許状の取得と教員採用試験の合格が必要であるため、教職への強い情熱を持った学生諸君をサポートすることが教職支援センター設立の目的です。

本学のセンターでは、単位修得方法や履修計画に関する相談、各種ガイダンスの開催、教育実習などに向けた事前・事後指導を行うとともに、教員採用試験対策なども行います。学生諸君は教職について経験豊富な先生方に相談することができ、具体的には、面接や筆記試験、模擬授業試験などの支援、教員をめざすうえでの心構えはもちろん、教職全般に関する相談もサポートしています。また、センターでは教科書や参考書、学習指導要領などの各種資料、教員採用試験に向けた書籍や過去問題なども取り揃えていますので、教職への進路を決めたその時から積極的に利用することができます。

この世の中のどのような仕事でも、自分一人の力で完結させることはできません。「教育」という仕事ならばなおさらのことです。同僚の先生や保護者、地域の方々、医療や福祉の専門家との協働で成り立っているといっただけでしょう。

教職をめざす諸君は、人を育てるという重要な課題の中で、さまざまな不安や困難に出会うことでしょう。しかし、その時あなたは決して一人で悩んではいけません。同じ道をめざす仲間があり、本学の教職支援センター教職員も諸君をサポートする存在なのです。

教職支援センターには、以下の二つの目標があると考えています。

第一に、教員をめざす学生が、その夢を実現できるよう支援するとともに、豊かな人間性と専門性、実践的な指導力を備えた教員として教育現場で活躍できる人材の育成です。

* さとう えつじょう 学長

第二に、大学を卒業して教員となってから、学校現場の抱える様々な課題に直面することが予想され、それらの対応で苦慮する教員もいると思われます。そのような、現場に出ている教員にとっての相談の場となることです。

多くの事例や研究論文を収載する『教職支援センター年報』の創刊が、今後のセンターの発展と、教員を志望する多くの学生諸君にとって意義ある道標となることを心より期待しています。